

平成30年
火災・救急統計



糸島市消防本部

は じ め に

この統計は、糸島市消防本部管内における、平成30
年中の火災・救急・救助等に関し、今後の消防行政上の
資料とするため作成したものです。

目次

火災編

1. 火災の推移	1
2. 火災概況	2
3. 出火件数	3
4. 損害額	4

付属資料

資料1 月別火災状況	5
資料2 月別火災損害額	5
資料3 月別原因別出火件数	6
資料4 校区別出火件数	7

救急・救助編

1. 救急出動件数の推移	8
2. 救急概況	9
3. 事故種別救急出動件数	10
4. 住所・傷病程度・年齢別搬送人員	11～12
5. 救助活動の推移	13
6. 事故種別救助出動件数	13

警戒編

警戒出動件数	14
--------	----

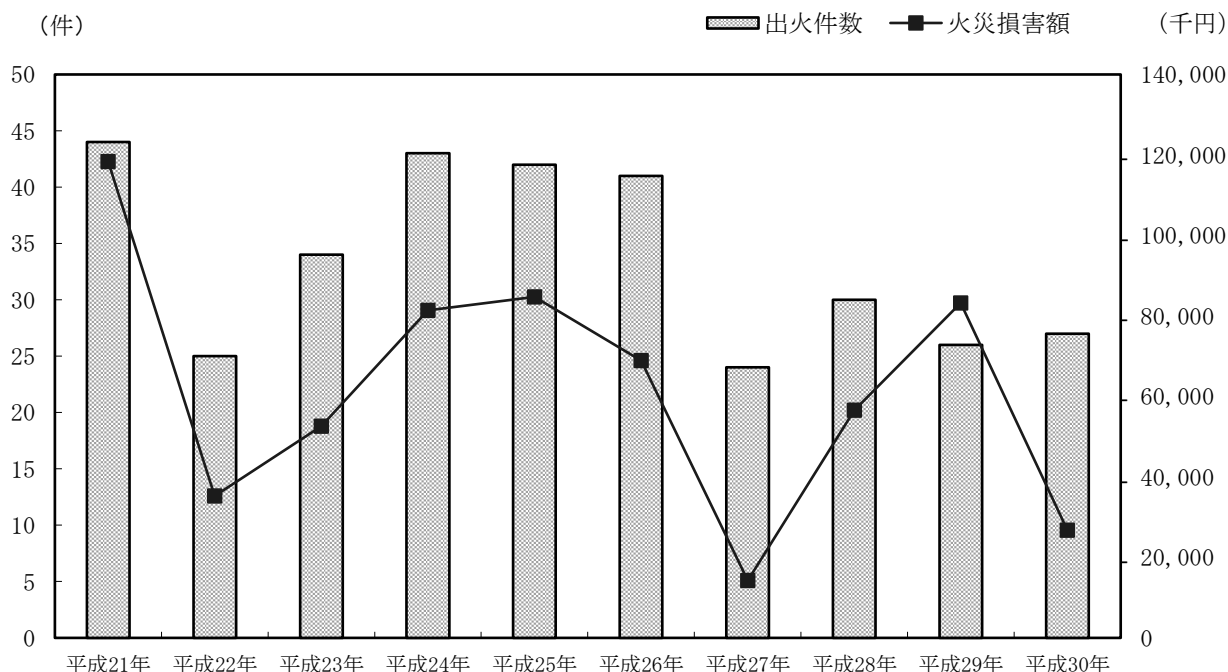
火 災 編

1. 火災の推移

平成30年中の出火件数は27件、火災損害額が26,751千円で前年に比べ出火件数は1件増加し、火災損害額は56,479千円減少している。

最近10年間の平均出火件数は約34件、平均火災損害額は約62,220千円である。

最近10年間の出火件数と損害額の推移



区分	年中										
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	10年間平均
出火件数	44	25	34	43	42	41	24	30	26	27	34
火災損害額 (千円)	118,358	35,287	52,639	81,424	84,727	68,928	14,257	56,603	83,230	26,751	62,220

2. 火災概況

平成30年中の出火件数27件は、およそ14日に1件の割合で火災が発生したことになる。

平成30年中の火災による死者は0人で、前年より2人減少し、また、負傷者は1人で、前年に比べ2人減少している。

概況表

区分		年中	平成30年	平成29年	比較
出火件数	建物		7	9	△ 2
	林野		1	3	△ 2
	車両		3	4	△ 1
	船舶				
	その他		16	10	6
	計		27	26	1
損害額 (千円)	建物		25,249	78,062	△ 52,813
	林野				
	車両		1,170	888	282
	船舶				
	その他		332	4,280	△ 3,948
	爆発				
	計		26,751	83,230	△ 56,479
焼損面積等 (注)	建物	床面積 (㎡)	309	1,211	△ 902
		表面積 (㎡)	115	6	109
	林野 (a)	1	4	△ 3	
	車両 (台)	3	4	△ 1	
	船舶 (隻)				
焼損棟数 (棟)			9	14	△ 5
り災世帯数 (世帯)			8	8	
り災人員 (人)			14	19	△ 5
死者数 (人)			0	2	△ 2
負傷者数 (人)			1	3	△ 2
1日平均発生件数					
1日平均損害額 (千円)			73	228	△ 155
1件当たり損害額 (千円)			991	3,201	△ 2,210
1人当たり損害額 (円)			263	826	△ 563
出火率 (件/人口1万人)			3	3	

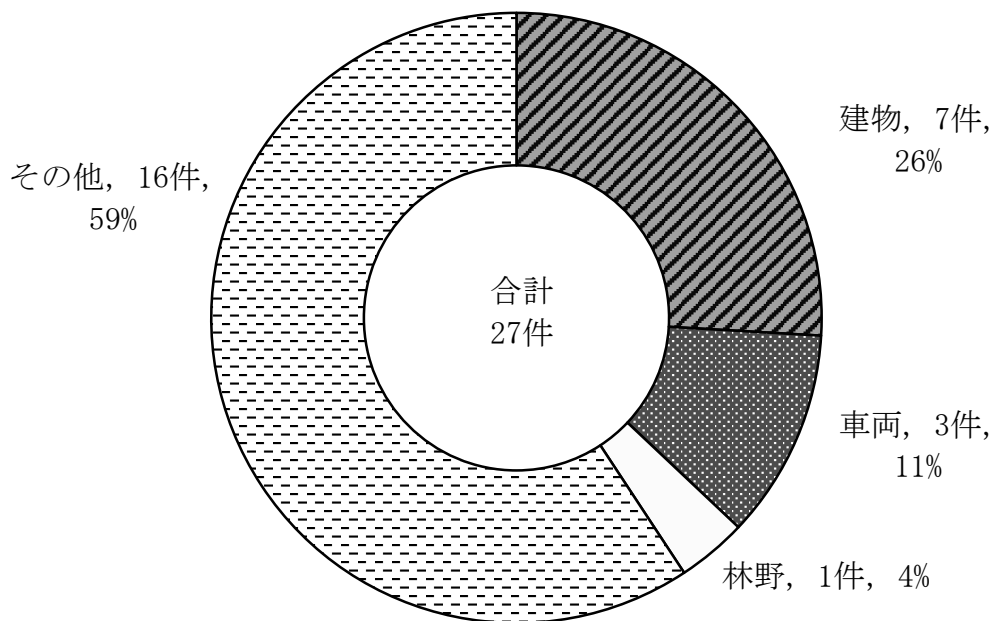
(注) 焼損表面積とは建物の焼損が部分的である場合をいう。(立体的に焼損が及ばなかった場合)

(参考) 管内の人口は101,643人(平成30年12月末現在)

3. 出火件数

平成30年中の火災種別による出火件数は、建物火災が7件発生し、全体の約26%を占め、次いで車両火災、林野火災の順となっている。

火災種別出火件数

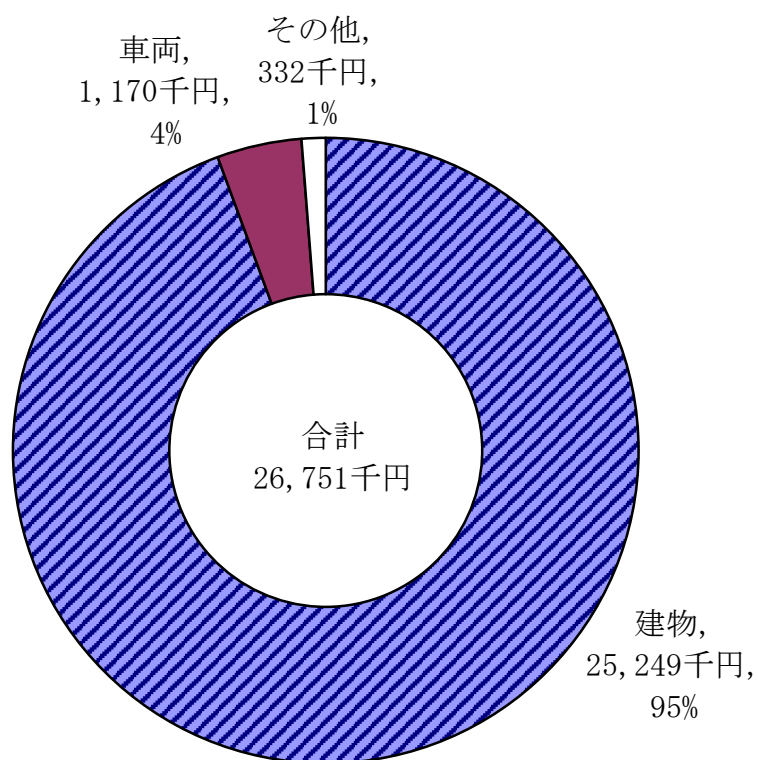


4. 損害額

平成30年中の火災損害額は26,751千円で、前年に比べ56,479千円減少している。

損害額を火災種別で見ると、下図に示すとおりである。

火災種別損害額



資料1 月別火災状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数					り災程度				死傷者数		焼損面積等					
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (隻)	
1月	3	1		2			1			1		1		1		2			99			2	
2月	4	1				3	1				1				1	3		1					
3月																							
4月	4	1				3	1			1									11				
5月	3					3	1			1									5				
6月	3	1				2	1				1								1				
7月	2	1		1			2	1	1			2	1	1		4			60			1	
8月	6	1	1			4	1		1			1	1			5			248	1			
9月	1	1					1				1												
10月	1					1																	
11月																							
12月																							
合計	27	7	1	3		16	9	1	2	3	3	5	2	2	1	14		1	424	1		3	

資料2 月別火災損害額

区分 月別	損害額 (千円)							
	合計	建 物			林野	車両	爆発	その他
		小計	建物	収容物				
1月	10,560	10,290	9,769	521		270		
2月	2	2	2					
3月								
4月	412	412	12	400				
5月	56							56
6月	5,898	5,898	43	5,855				
7月	1,737	816	605	211		900		21
8月	8,084	7,829	3,864	3,965				255
9月	2	2		2				
10月								
11月								
12月								
合計	26,751	25,249	14,295	10,954		1,170		332

資料3 月別原因別出火件数

月別 区分	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
こんろ								1					1
たき火		1		1	1	1		2					6
放火										1			1
放火の疑い						1							1
たばこ		1											1
風呂かまど													
焼却炉													
煙突・煙道													
電気機器													
電灯・電話等の配線		1		1									2
配線器具													
火あそび													
マッチ・ライター													
溶接機・切断機													
火入れ					1								1
かまど													
炉													
ストーブ													
こたつ													
ボイラー													
排気管													
電気装置													
内燃機関	1												1
灯火													
衝突の火花													
取灰													
その他				1				2					3
不明・調査中	2	1		1	1	1	2	1	1				10
合計	3	4		4	3	3	2	6	1	1			27

資料4 校区別出火件数

校区別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
波 多 江						
東 風	1		1		2	4
前 原	1		1			2
前 原 南	3				1	4
南 風	1					1
加 布 里					2	2
長 糸		1			1	2
雷 山	1				2	3
怡 土					2	2
一 貴 山			1		1	2
深 江						
福 吉						
可 也					3	3
桜 野					1	1
引 津					1	1
合 計	7	1	3		16	27

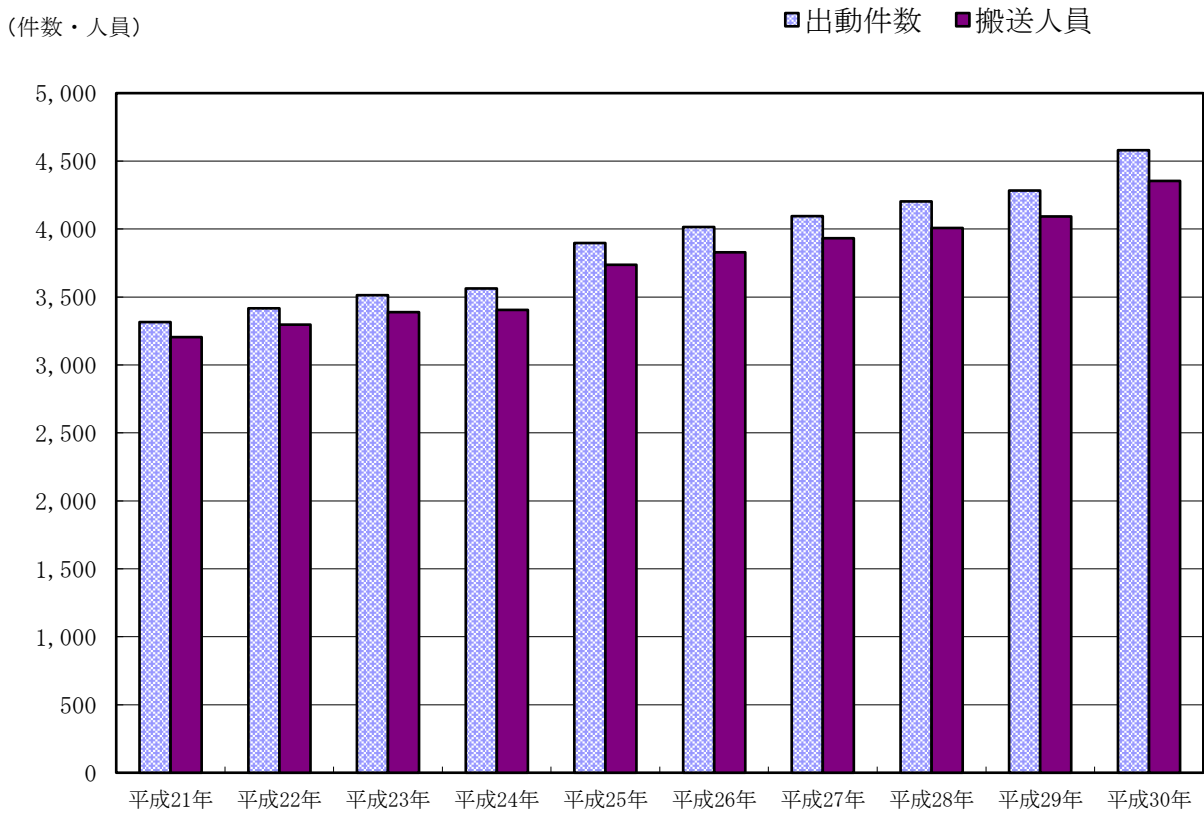
救急・救助編

1. 救急出動件数の推移

平成30年中の救急出動件数は4,580件、搬送人員は4,354人で前年に比べ出動件数は297件、搬送人員が262人増加している。

最近10年間の平均出動件数は約3,888件、平均搬送人員は約3,725人である。

最近10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



区分	年中										10年間平均
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
出動件数	3,316	3,416	3,513	3,564	3,898	4,015	4,094	4,203	4,283	4,580	3,888
搬送人員	3,206	3,298	3,388	3,405	3,737	3,830	3,932	4,007	4,092	4,354	3,725

2. 救急概況

平成30年中の救急出動件数4,580は、1日平均約13件出動したことになる。また、平成30年中の搬送人員4,354人は、住民の約23人に1人が搬送されたことになる。

概況表

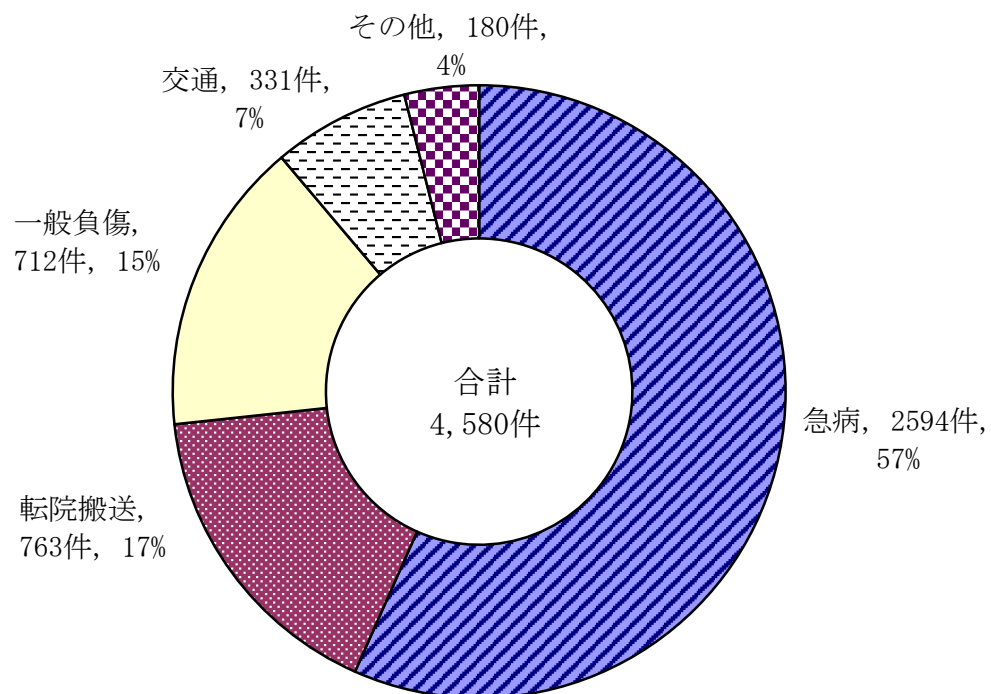
区分		年中	平成30年	平成29年	比較	
出動件数	火災		13	12	1	
	自然災害					
	水難		4	11	△7	
	交通		331	374	△43	
	労働災害		43	38	5	
	運動競技		37	41	△4	
	一般負傷		712	592	120	
	加害		13	14	△1	
	自損行為		28	36	△8	
	急病		2,594	2,340	254	
	その他	管内転院搬送(注1)		71	104	△33
		管外転院搬送(注1)		692	694	△2
		医師搬送				
		その他		42	27	15
計			4,580	4,283	297	
1日平均			12.5	11.7	0.8	
不搬送			275	251	24	
搬送人員	性別	男	2,219	2,102	117	
		女	2,135	1,990	145	
	計			4,354	4,092	262
	程別	死亡(注2)			1	△1
		重症(注3)		427	393	34
		中等症(注4)		2,404	2,336	68
		軽症(注5)		1,523	1,362	161
		その他(注6)				
	計			4,354	4,092	262
	1日平均			11.9	11.2	0.7

- (注) 1. 転院搬送とは、医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。(管内とは糸島市内、管外とは糸島市外への搬送をいう)
 2. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
 3. 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
 4. 中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。
 5. 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
 6. その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。(消防ヘリに引き継いだもの等)

3. 事故種別救急出動件数

事故種別による救急出動件数は、急病によるものが全体の約57%で半数以上を占め、次いで転院搬送、一般負傷の順である。

事故種別救急出動件数



4. 住所・傷病程度・年齢別搬送人員

平成30年中の救急搬送人員を住所別にみると、糸島市民が3,791人で大多数を占め、管外住民が560人である。また、傷病程度別にみると、重症と中等症の合計が全体の約65%で、軽傷が約35%である。さらに年齢別でみると、65歳以上が全体の約61%を占めている。

図1 住所別搬送人員

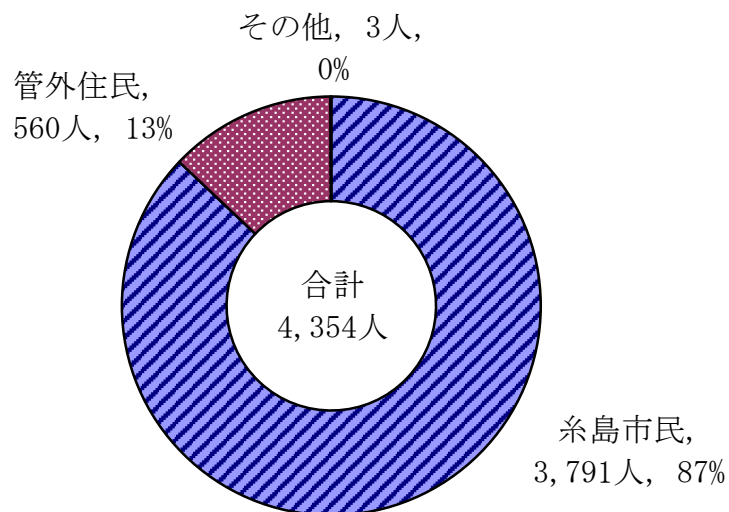


図2 傷病程度別搬送人員

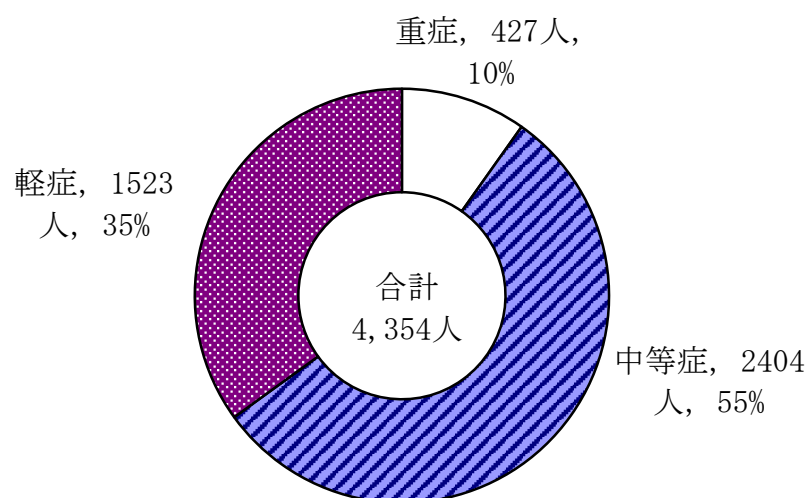
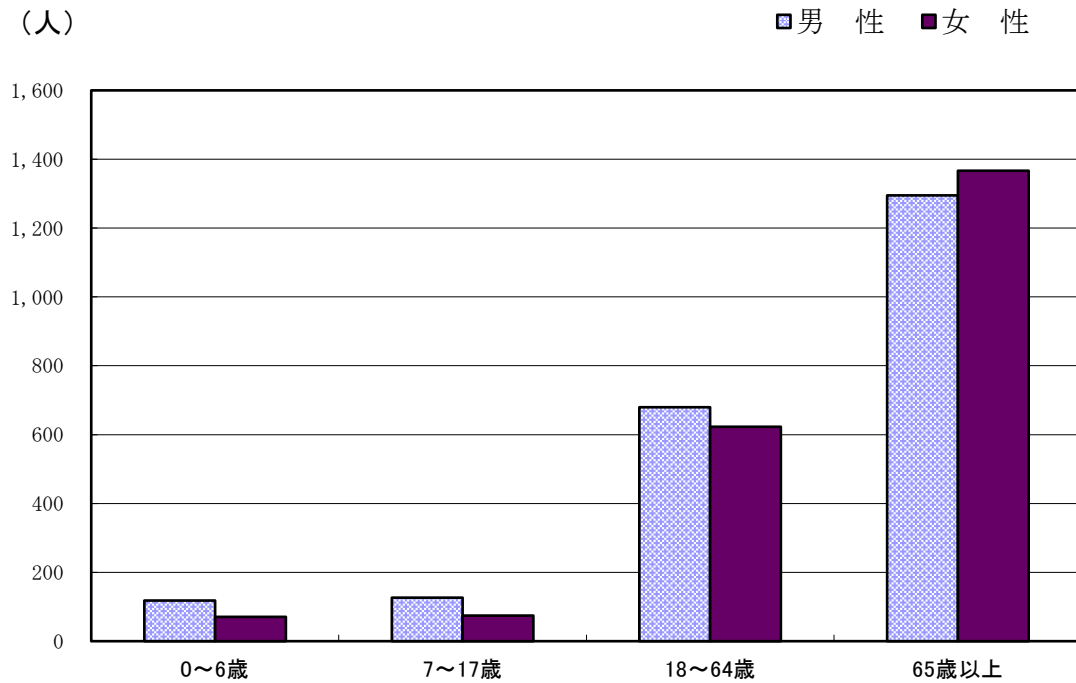


図3 年齢別搬送人員



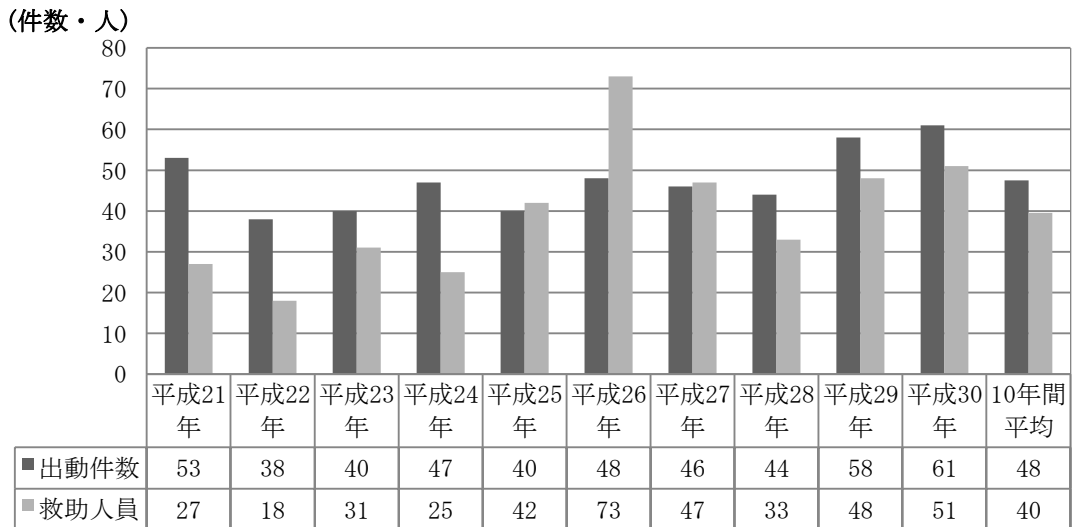
年齢 性別	0~6歳	7~17歳	18~64歳	65歳以上	計
男性	118	126	680	1,295	2,219
女性	71	74	623	1,367	2,135
計 (人)	189	200	1,303	2,662	4,354
比率 (%)	4	5	30	61	

5. 救助活動の推移

平成30年中の救助出動件数は61件、救助人員は51人で、前年に比べ出動件数は3件、救助人員が3人増加している。

最近10年間の平均出動件数は約48件、平均救助人員が約40人である。

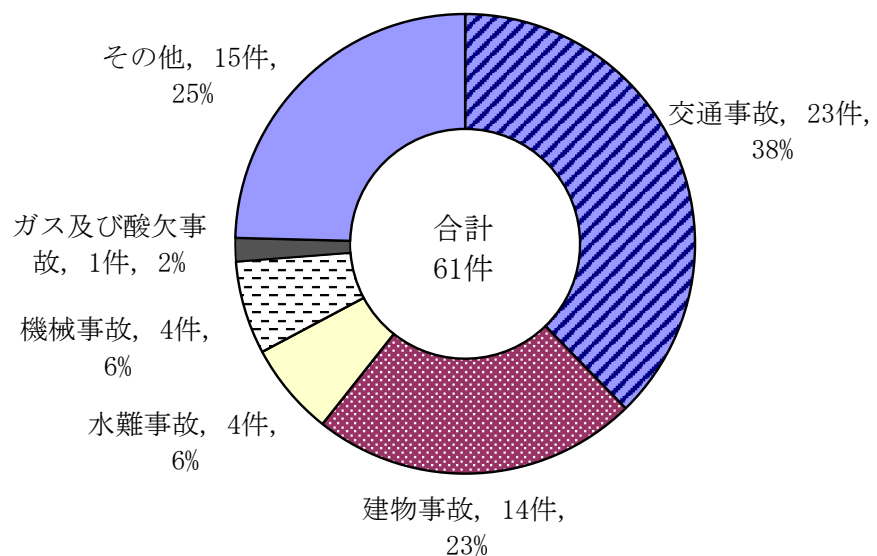
最近10年間の救助出動件数及び救助人員



6. 事故種別救助出動件数

事故種別による救助出動件数は、交通事故によるものが全体の約38%を占め、次いで建物事故、水難事故及び機械による事故の順である。

事故種別救助出動件数



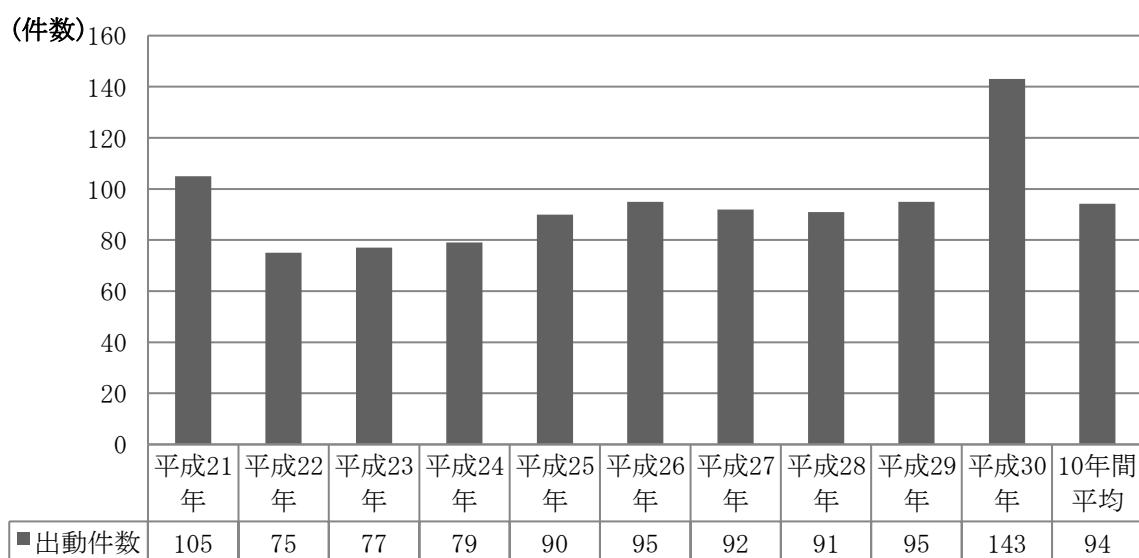
警 戒 編

警戒出動件数

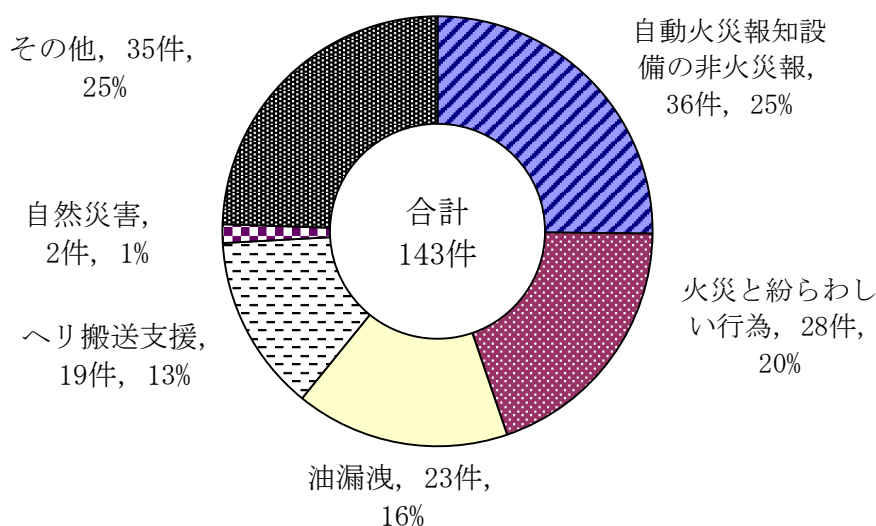
平成30年中の警戒出動件数は143件で、前年に比べ48件増加し最近10年間の平均出動件数は約94件である。

出動件数を原因別にみると、自動火災報知設備の非火災報によるものが全体の約25%を占め、次いで火災と紛らわしい行為、油漏洩の順である。

最近10年間の警戒出動件数



原因別出動件数



(注) ヘリ搬送支援とは、ヘリコプターで傷病者の搬送を依頼する場合にヘリコプター臨時離着陸場の安全を確保するため、消防隊が出動したものをいう。